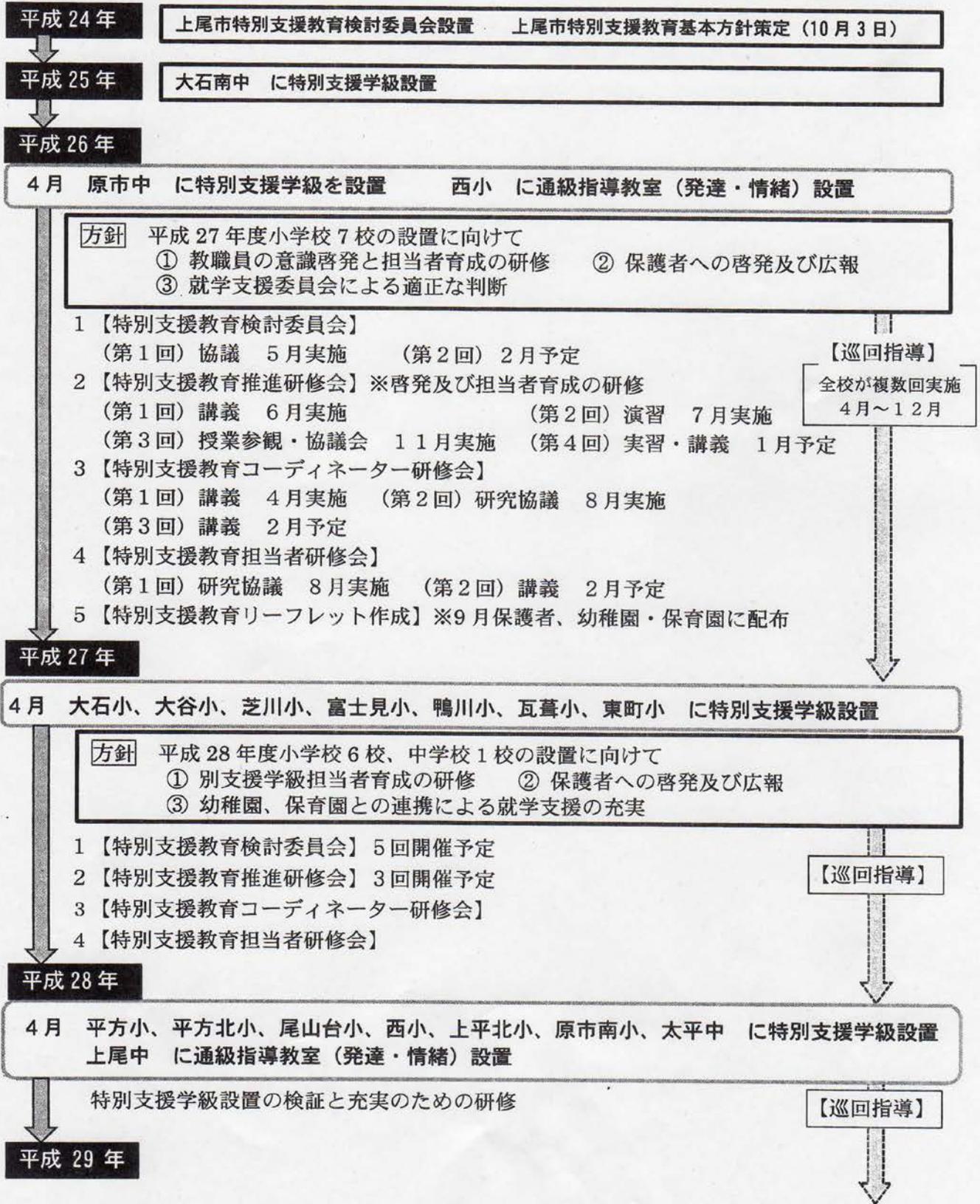


<p>件 名</p> <p>上尾市の特別支援教育の取組について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>上尾市の特別支援教育の取組について、別紙のとおり報告します。</p>	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	上尾市の特別支援教育の取組について 特別支援教育リーフレット

上尾市の特別支援教育の取組

子供の可能性を最大限に伸ばすため

上尾市では、障害のある子供が障害のない子供と平等に教育を受けることができるように、特別支援教育推進のための基盤の整備に取り組んでおり、平成28年度までにすべての小学校に、特別支援学級の設置、中学校は6地区に各1校ずつ特別支援学級を設置いたします。



今 特別支援教育は!

国や県では、『障害のある子供と障害のない子供ができるだけ同じ場で共に学ぶことが必要であり、子供たちが、それぞれに充実感・達成感をもち、生きる力を着実に身に付ける環境を整えることが大切である。』としています。



上尾市では、国や県の動きを受けて、障害のある子供が障害のない子供と平等に教育を受けることができるように、特別支援教育推進のための基盤の整備に取り組んでいます。

就学前からの一貫した指導・支援の充実を目指し、「多様な学びの場」の整備として、特別支援学級や通級指導教室の開設を積極的に進めます。

早めの気づきが より良い支援の第一歩となります。

◆ 早めの支援で つまずきを最小限に

発達障害は周囲の理解やかかわり方によって、その状態が大きく変わります。早期からの適切な支援で、その後の学習上や生活上のつまずきを最小限に抑えられます。その困難さの中には、本人の努力だけでは軽減や克服が難しいものも多くあります。

逆にかわり方が適切でないと、学年が上がるにつれて不適応を起こしやすくなったり、自己肯定感が低下してしまったりといった二次的な障害を起こす場合があります。

◆ お子さんに こんな 気になる様子はありませんか?

- 他のことに気を取られて食事や着替えが進まない
- 人の嫌がることをしてよくケンカになる
- 友達になりたいのにうまく関係が作れない
- ルールのある遊びが苦手
- いつもと違うことや新しいことがあると混乱する
- 人の話に割り込み、自分の話したいことだけを一方的に話す
- 持ち物をよくなくしてしまう
- かんしゃくやパニックを起こしやすい
- 落ち着いて座ってられない
- 順番が待てない



■ 一人一人の発達の状態に応じた支援と早めの相談を

子供たちの発達の状態は一人一人違います。発達に応じた支援が必要であり、保護者が必要以上に手を貸しすぎたり、他の子と比較してできないことを不安に思い悩んだりすることは、お子さんのより良い成長に決してプラスにはなりません。大切なことは、一番身近にいる保護者がお子さんの発達を見極め、早くからその子の持っている特性や苦手さ・困難さに気づき、理解してあげることです。そして、お子さんの発達で心配なことがあれば、早めにご相談ください。

■ お子さんのより良い発達に向けての相談機関

◎上尾市発達支援相談センター（電話 048-776-6166）

- 乳幼児から18歳未満の発達に不安がある子供の相談

◎上尾市教育センター（電話 048-776-7600）

- 就学相談…障害があると思われる幼児から中学生までの子供たちのより良い就学先を判断するための相談（検査を受けることも可能）
- 教育相談…小学生から中学生までの発達関係等（その他 行動や不登校）の相談



夢・感動教育 あげお



特別支援教育リーフレット

子供の可能性を最大限に伸ばします!



上尾市教育委員会

